



# 葉山小だより

自ら学び 考えて行動できる子  
～自立・創造・しなやかな心～



令和7年度

NO.15

2026.1.13

葉山町立葉山小学校

校長 濱名恵美子

## ★今年もよろしく願いいたします★

新しい年が始まり、学校には子どもたちの明るい声が戻ってきました。「あけましておめでとうございます」と少し照れながらあいさつをする子、冬休みの出来事を楽しそうに話す子など、登校初日から校内には笑顔があふれています。皆様には、穏やかな新年をお迎えのことと存じます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年は午（うま）年です。馬は古くから人と共に歩み、力強く前へ進む姿から、「前進」や「挑戦」の象徴とされてきました。一度走り出すと目標に向かって進み続けることから、「物事が勢いよく動く年」とも言われています。今年は午年にちなみ、前進していく年にできればと思います。



さて、学校生活に目を向けると、今年度も残り3か月となり、一年間の学びと成長を総まとめする大切な時期を迎えています。馬が一步一步、地面を確かめながら前へ進むように、子どもたちにも、これまで積み重ねてきた努力を振り返り、次の学年へ向けて毎日を大切に過ごしてほしいと願っています。

子どもたち一人一人が、自分の成長を実感し、自信をもって次へ進めるよう、教職員一同、心を合わせて取り組んでまいります。本年も、保護者・地域の皆様の温かなご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## ★重要★ R8 年度から一部、カリキュラムの見直しを行います

現在、次年度のカリキュラム編成に向けて、準備を進めているところです。

現状の葉山小のカリキュラムは、実際に学習指導要領に定められている授業時数より、かなり上回っており、子どもたちの負担が大きくなっています。

また、それに伴い、教職員の勤務時間も超過勤務になっており、ゆとりをもって教材研究を行ったり、子どもたちと接する時間を確保したりすることに課題があるのが現状です。

これらの課題を踏まえ、学習指導要領に定められた授業時数を確保しつつ、子どもたち、さらには教職員等も含めて「ゆとりとメリハリのある教育課程」の実現を目指し、教育の質的な向上を目指していきます。

今後は、町内全体で、教職員等が放課後に会議や研修等を行いやすい環境を整えていきます。これらの流れを踏まえ、葉山小では、令和8年度に向けて以下の通り変更します。

詳しくは、年度末に発出する「学年通信」等でご確認ください。

### <令和8年度 変更概要>

\* 4年～6年 5時間授業の実施日は、月・水曜日に変更 ※月・水曜日以外、6時間

※4年は、クラブがある金曜日のみ6時間

\* 3年 火曜日のみ6時間授業 ※火曜日以外、5時間

\* 2年 水・金曜日が4時間授業 ※水・金曜日以外、5時間（※後期は、金のみ4時間）

\* 1年 火・水・金曜日が4時間授業 ※月・木は、5時間（※後期は、水・金が4時間）

※入学後、～4/末頃までは、慣らし登校のため5時間授業は実施しません。

## 令和8年4月 葉山中学校区 施設分離型小中一貫校へ (※令和7年4月より、南郷中学校区は施設分離型小中一貫校を開始しています。)

葉山中学校区は、令和8年度から施設分離型の小中一貫校になります。(※南郷中学校区では令和7年度より開始しています。)したがって、町内の6校が葉山町のスクールミッションに基づき、6校が共通したスクールポリシーを定め、同じ方向を向いて歩み始めています。これからも、子どもたちにとってよりよい教育環境を整えていきたいと思っておりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

### 葉山のスクールミッション

1. 社会の変化、葉山のまちづくりとともにある学校
2. 夢や目標を見つける力、みつけたときに行動できる力が学べる学校
3. 進取の気象に富んだ学校

### ●小中一貫校のスクールポリシーは？ → 「自ら学び、考えて行動できる子」

「自立」 責任ある行動をとる力 ※R8.4月より、「自立」から「自律」へ変更する予定です。

「創造」 新たな価値を創造する力

「しなやかな心」 対立やジレンマを克服する力

### ●なぜ小中一貫校を作るのでしょうか？

小中一貫教育のメリットとされる教育効果を子どもたちに享受してもらうためです。地域に開かれたコミュニティ・スクールとして、地域の拠点となる学校づくりも行っていきます。

### ●小中一貫校に変わることで何が変わるのでしょうか？（一貫教育に期待できること）

- ①小・中学校の教員が、目指す子ども像を共有するとともに、9年間を通じた教育課程を編成し、同じ目的・イメージに向かって系統的な教育を目指すことができます。
- ②先々、校舎が一体化した際には、小中学校の先生が同じ学校内にいることで、進学する際の児童の情報共有がスムーズになり、いわゆる中1ギャップと呼ばれる、「環境の変化への不適応」が少ない状況を作っていきます。
- ③校内研究の成果を共有し「学び合い」「探究的な学習」等を深め、確かな成果を上げていくことができます。

### ※葉山小学校が抱える「学区」の課題

学区の考え方については、昨年配付した葉山中学校区スクールガイド（※南郷中学校区スクールガイドは、一昨年度に配付済み）にも掲載されておりますので、そちらをご参照ください。いずれにしても葉山町のスクールミッションに基づき、両中学校区ともに、6校共通のスクールポリシーを策定し、目指すべき教育の方向性を共有しています。

特に堀内1～998番地にお住まいの方等、ご不安なことがありましたら、教育委員会または葉山小学校管理職までご相談ください。

## ★令和7年度 あいさつ標語 優秀作品★

～おめでとうございます～

- 優秀賞      年 組                  さん  
『さようなら    あなたのえがお    また明日』
- 特別賞      年 組                  さん  
『こんにちは    ふりむくえがお    ソーダ水』

